

2022年度 戦略施策マネジメントシート【2021年度実績評価】 作成: 2022年 6月 15日

施策番号 4-2	施策名 輝くまちづくりプロジェクト	基本的方向	地域資源を活用しひとが育ち・集う魅力的なまちをつくる			
		基本目標	ひとが集い、誰もが安心して暮らすことができる魅力的なまちづくり			
	主管課	生涯学習課	課長名	日下勝祐	内線	451
	施策関係課	教育推進課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
人々の創造性や感性を育み心豊かに暮らすための文化振興や健康増進や皆スポーツを目指したスポーツしやすい環境づくりを進めるとともに、これらの地域資源を活用した人材育成を進める		町民 町民で他市町村に通う生徒	学びの基礎づくり 生涯を通じての生きがいづくり 共助社会の絆づくり				生涯にわたり、「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学び、心豊かで輝く人を育む地域づくり	
重要業績評価指標 (KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)	
① ジモト大学への参加者数	実績数(年間)	人	0	4.0	19.0		10.0	
② 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	42.2	77.4	73.0		45.0	
③ スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	92.2	83.8	83.5		95.0	
評価指標設定の考え方	①ジモト大学への参加者数10人を目指す。 ②前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 ③住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。							

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	826,936	767,680	
人工数(業務量)	3.9954	4.0689	

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①昨年、新規事業としてほぼ想定した参加者数での実施となった。 ②③はコロナ禍で事業の中止や縮小の影響は大きかったが、コミュニティ・スクールやスポーツでの民間企業等との協定事業の実施など一定の評価を得たものと解する。
②2024年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	昨年新規事業として実施した芽室ジモト大学事業は、更に地域住民の参画を得て内容充実し努めるとともに、中高生の参加しやすいスケジュール等に配慮する。 コミュニティ・スクールにおける地域住民の参画については、コーディネーターの積極的な活動により参加者増が見込まれる。 文化・スポーツの振興については、引き続き企業や団体などと連携した事業により参加しやすい環境づくりや人材育成に寄与する事業に取り組む。
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	芽室ジモト大学事業(R3新規)の実施にあたっては、高校生のチームスタッフによる企画から活動内容を決定し、地域の人々との交流・学習に取り組んだ。参加者それぞれの探究心から課題解決へのアプローチなど事業の目的に沿って進めることができた。 コミュニティ・スクールにおいては、コーディネーターの積極的な活動により、多くの学校支援ボランティアの皆さんに参画いただき、児童生徒の育みを支えるとともに、地域コミュニティの活性化につながった。 文化・スポーツの振興では、コロナ禍で施設の閉館や事業の縮小・中止を余儀なくされるなど、十分な事業実施とはならなかった。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)							
担当課 評価	人財育成については新たな取組みに着手し成果向上につながっている。 地域コミュニティの活性化に繋がるコミュニティスクールの充実に努めた。 文化・スポーツの振興は、コロナ禍で制限が多かったが、ソフト事業の充実に努めた。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した
D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・芽室ジモト大学事業の実施 →探究心の育成と郷土愛の醸成を、多様な分野で実感できる事業推進が必要。 →地域とのかかわりの中でコミュニティやコミュニケーションの重要性を発信。 ・コミュニティ・スクール →児童生徒の育みを支えること、地域コミュニティを活性化させること、教員の負担を軽減すること。 ・文化・スポーツの振興 →多様な種目や年齢層に対応した環境整備(ソフト・ハード)。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> ・芽室ジモト大学 →参加しやすいスケジュール調整。 ・コミュニティ・スクール →事業の周知方法の工夫。 ・文化・スポーツの振興 →ゲートボールの普及振興

5. 施策の成果向上のための具体的な取組(今後強化すべき取組、新たに実施すべき取組)

<ul style="list-style-type: none"> ・芽室ジモト大学 →学習から探究への事業展開を進めるためのスキームと対話。 →地域コミュニティへの積極的な参画と、地域側の活動への意見提案。 ・コミュニティスクール →学校支援ボランティアの全町的な取組みへ拡大。 →学校運営における「貢献の位置づけ」の明確化。 →学校運営協議会、教員、ボランティア、保護者などの交流機会の確保。 ・文化・スポーツ振興 →「一流を見て、聴いて、学ぶ」、社会体育施設再整備、ゲートボール普及推進の重点的な実施。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取組を進めてください。	A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、経営戦略会議評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見		A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した					